

埼玉農産物・商談会シート



本シートは、農林水産省が行うフード・コミュニケーション・プロジェクトが作成したシートを参考に作成しました。

令和元年10月作成

商品特性と取引条件

商品名	梅（越生の梅）														
最もおいしい時期	小梅 5月下旬 梅 5月末～6月中旬	出荷可能時期・期間	小梅 5月下旬 梅 5月末～6月中旬												
産地	越生町・毛呂山町	品種の特徴	青梅（白加賀等）												
内容量	4kg・10kg	希望小売価格（税込）	市場状況により要相談												
1ケースあたり入数		保存温度帯	冷蔵 ▼												
発注から納品までの日数	4月に要相談	販売エリアの制限	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有→												
最低ケース納品単位	1箱	ケースサイズ(重量)	<table border="1"><thead><tr><th>縦(寸) ×</th><th>横(寸) ×</th><th>高さ(寸)</th><th>重量(kg)</th></tr></thead><tbody><tr><td>34.0</td><td>21.0</td><td>11.0</td><td>4kg</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>10kg</td></tr></tbody></table>	縦(寸) ×	横(寸) ×	高さ(寸)	重量(kg)	34.0	21.0	11.0	4kg				10kg
縦(寸) ×	横(寸) ×	高さ(寸)	重量(kg)												
34.0	21.0	11.0	4kg												
			10kg												
認証・認定機関の許認可(商品・工場等)	<input type="checkbox"/> 有機JAS <input type="checkbox"/> ISO <input type="checkbox"/> HACCP <input type="checkbox"/> 農業生産工程管理(GAP) <input type="checkbox"/> その他→														

ターゲット	売り先	<input checked="" type="checkbox"/> フードサービス <input checked="" type="checkbox"/> 商社・卸売 <input checked="" type="checkbox"/> メーカー <input checked="" type="checkbox"/> 小売 <input checked="" type="checkbox"/> ホテル・宴会・レジャー <input type="checkbox"/> その他(右に記入→)
	お客様 (性別・年齢層など)	プロの料理人や主婦
利用シーン (利用方法・おすすめレシピ等)	種が小さく肉厚な青梅なので梅酒・梅シロップ・ジャム等に適しています。 いるま野の野菜を使ったクッキングレシピがJAいるま野ホームページから ご覧いただけます。	
商品特徴	JAいるま野梅部会のうめは「越生の梅」のブランド名で販売しています。 種が小さく肉厚な青梅です。 小梅は5月下旬。梅は5月末から6月中旬まで出荷されます。	

商品写真



■ 産地紹介

産地名	いるま野地域農産物（越生町・毛呂山町）		
生産量・作付面積	50t～100t（その年により）	生産者数	2組織111名（平成30年度）
代表者氏名	代表理事組合長 大木 清志		
メッセージ	越生梅林は、関東三大梅林に数えられ、その歴史は約600年前まで遡ります。品種は白加賀が主体の産地となっております。出荷に際しては、生産履歴により農薬利用等のチェックを行っております。		
ホームページ	http://www.ja-irumano.or.jp		
事務所所在地	〒350-1105 埼玉県川越市今成2-29-4		
ほ場所在地	埼玉県 入間郡 越生町・毛呂山町		
担当者	販売部 米麦特産課	E-mail	kawagoe-ce@irumano.st-ja.or.jp
TEL	049-228-1930	FAX	049-228-1330



■ 生産工程・アピールポイント

出荷期間

荷姿	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
バラ												

農産物の出荷の際、農産物の日記（生産履歴書）を生産者から提出を受けます。JAの農業チェックシステムを使用し、農薬が安全使用されているかの確認を行い、合格した「安心・安全」な農産物だけを出荷しています。

- 野菜の日記（生産履歴書）は堆肥・肥料の散布等、土づくりの段階から記帳を始めます。
- 農業チェックシステムに合格した野菜は次に品質検査を行い、すべての検査に合格した「安心・安全」で新鮮な野菜が市場へと出荷されます。
- 野菜の日記（生産履歴書）の情報は、市場・量販店からの問い合わせに迅速に対応を取れるようデータ管理をしています



■ 品質管理情報

品質保持への取組（冷蔵庫等）				
商品検査の有無	○無 ●有	生産者各自が選別出荷し、JA集荷時に専任担当が品質・規格等を検査する。		
衛生管理への取組	製造工程の管理			
	従業員の管理	生産者は家族経営が主体		
	施設設備と管理			
危機管理体制	担当者連絡先	担当者	販売部 米麦特産課	連絡先 049-228-1930
	記録	トレーサビリティ（生産履歴）システムの利用により管理を行う。		